

令和5年度 第5回 前原小学校 学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員会）

令和6年 3月8日（金）10：10～12：05

参加したCS委員：梶野さん、村澤さん、伊藤さん、貞平さん、安東さん、
野崎さん、森田さん

学校参加者：校長 小柳 政憲 副校長 板澤 絢子

開催場所：けやきルーム

1 委員長挨拶

最後なのでまとめの話をしたいと思います。
よろしくお願いします

2 校長挨拶

おはようございます。1年間ありがとうございました。
2月22日に自主研究発表会を行った。小中の先生に5時間目の生活科、総合的な学習の時間、算数科の授業を見てもらい、全体会・協議会ではパワーポイント資料やリーフレットで本校の取り組みを見てもらった。南中と四小の先生たちと連携するために小中連携を行った中で自主研究発表という形をとった。子供たちの表現力向上のための取り組みを今年度始めたところである。来年度につなげていく。よろしくお願いします。

3 議題

(1) 令和5年度学校経営報告（報告者：小柳校長） ◎資料参照

①令和5年度の取組

- ・対話を引き出す授業への変革
表現力を高める。協働して関わっていく。リーフレットにまとめた。
- ・東京ベーシックドリルの診断テスト
算数を中心に毎学期行っている。テストに向けた対策を事前にしてから、テストを受けている。
- ・算数モジュール
毎週水、木、金の15分間を算数の基礎基本の定着のためにパソコンで行っている。

<自尊感情を高めるための取組>

- ・学芸会を全ての学年で行う。
- ・おやつありの遠足を復活させた。
- ・ハートフルウィークの設定・・・学期始めに自殺が多い、不登校が多いことを踏まえて、担任以外の方から命の大切さを学ぶ時間をつくっている。
- *人、物、時間を大切にす意識の向上。R5は時間を守ることを中心に行った。
- *外部講師の積極的な招聘。地域、プロの方を招き、指導を受ける

②学力の実態

- ・平均正答率が上がっている。子供を把握し、その子にあった指導を行ってる。
平均正答率80点を目標に、前の学年の学習の定着を目指している。
- ・CD層の変化・・・減っているかどうかを確認している。色が付いているところが減っている表示である。基礎基本の教え込みではなく「なぜこうなるのか」友達とともに学習をす

すめる、理由をもとに積み上げていくころが大切である。それを続けている。

③全国学力調査

- ・令和4年と令和5年の学力の差。
ハンカチを使用して説明（少しずつ積み上げていくことが必要）

○来年度6回の授業に講師を呼んで指導を受ける。

④学校生活への意欲の実態

- ・不登校、不登校傾向の実態

令和4年と令和5年の比較を行った。不登校傾向のある家庭との面談を実施し、家庭と協力していくスタンスで面談を行った。

【不登校理由】人前に出て発表するのが苦手、怒られるのがいや、目標計画がプレッシャー
進級がプレッシャー、泣けばどうにかなると思っている、勉強が嫌い
頑張ることがトラウマ

○叱るのが全て悪いことではない。時には、指導の中で叱ることも必要である。

(2) 令和6年度の取組

- ・60周年行事 令和7年2月21日 周年行事
- ・小金井市研究奨励校
- ・高学年教科担任制
- ・4年生以上の夏休みの自由研究を探究学習へ
- ・5年の校外学習
- *生活リズムチェックカード
- *全学年副担任制
- *特別支援教育への理解促進（全教員が学期に1回、ひだまり教室への授業参観）

CS 梶野：では、今の内容についてご質問やご意見はあるか。

CS 貞平：P連 いじめ関係話題になっている。

三小 「PTA 会長が1日学校にいます」という取り組みをしていた。

北部地区 いじめをテーマにした講演会を行っていた。

不登校の子の行き場を作りたい。昼間、不登校の子の場所を使いたいと交渉中。

CS 梶野：他に無ければ次にいきます。学校評価の報告を板澤副校長お願いします。

(3) 学校評価 最終報告（報告者：副校長 板澤）◎資料参照

学校評価の項目に対する回答は、データ提出であれば13日まで。紙ベースであれば、本日から13日までの間に送付、持参。

【様式3の内容の見方】

左側の項目に対する具体的方策を立て、第1回評価アンケートを7月に行い、課題と対策を立て、2学期をスタートさせた。2学期中のCS会議で内容を説明し、様式2の中間まとめにご意見をいただいた。様式3では、2学期の課題と対策を基に取り組みをすすめ、12月に第2回評価アンケートを実施した。その成果と次年度以降の対策を取りまとめた。

今回はその内容をご覧いただき、本校の取り組みがいかがであったかご意見をいただきたい。

学校関係者評価の(1)自己評価の各項目に対する評価結果及びコメントをいただきたい。

よろしくをお願いします。

CS 梶野：では、今の内容についてご質問やご意見はあるか。

CS 森田：アンケートの実施時期はどうなっているか。
板澤：今回は2度目のアンケートだったため、12月に行った。

CS 安東：QUの文言がわかりづらい。
CS 森田：アンケートの文言は学年で違うのか。
板澤：違う。学年に関係のある文言を載せている。

CS 伊藤：国語の問題用紙の捉え方について、勘違いをする子がいるのではないか。
CS 安東：裏面に問題があることを忘れてしまう子もいる。

CS 貞平：アンケート19の質問内容が広すぎるのではないか。
校長：自尊心が高まったら、様々なことに目が向くであろうという思いもある。アンケートの言葉は、年度が変わるとともに微妙に変更している。

CS 森田：子供たちがアンケートに答える際には、子供たちの直近の出来事で答え方も変わると思う。
CS 伊藤：アンケートを取ることで自分を振り返ることができる。
CS 森田：アンケートで「聞かれている」ということは、大切なことだと思うこともある。

CS 梶野：では、今の副校長板澤先生の報告の内容について承認ということによろしいか。
CS 全員：(頷く)

4 委員の皆様からの情報提供

CS 伊藤：まなび〜で先生の話聞く。
中休みを潰して学習の残りをすることがあるが、友達と遊べないと息子がいつている。
前原小に長いこと勤務している先生がいる。

CS 森田：保護者、児童の意見で人事を変更することはあるのか。
校長：→相性の問題を考慮して考えることはある。
制度的には、3年以上で異動が可能。

CS 森田：放課後子ども教室でも子供から授業の話聞く。
みんなが気持ちよく過ごせるとよい。

校長：本人が認めないと異動はできない。
指導方法が変えられない先生には、指導を続ける必要がある。

CS 森田：25名ワンワンパトロール、らんらんパトロールの人数が増えている。
地域を見守る、子供を見守る。ビブスや腕章を配布している。2009年150名 ビブスが配布された。グリーンの防犯のジャケットを着て活動をしている。

CS 村澤：旗は、無いのか？

CS 森田：旗はない。登下校の見守りはない。

CS 村澤：東八道路付近の登下校を見守りしている。26名ほど通る。

板澤：学校には旗があるので、そちらの利用はどうか。

CS 村澤：お借りしたい。

CS 貞平：25日卒業式ですが、写真撮影三脚禁止らしいとの話ですがどうか。

校長：儀式的行事なので、立つことはせず、自分の席で撮影をする。

CS 森田：放課後子ども教室も1年間、取り組んできた。ありがとうございました。

- ・週5日間利用しました。放課後、子供たちが利用していた中で、1日の利用が255名のときがあった。喧嘩が少し減った。表現力、協働力の指導、縦割りの効果もあった。
- ・行事後の子どもたちの落ち着きが見られた。子供たちの遊び方についてもかわった。
- ・子供たちには、受付時の挨拶をすること、遊具を大切に使用すること、終わる5分前の片付けを行うこと、道具の返却、時間を守ることの約束等を徹底した。
- ・年度途中で引っ越してきた保護者から、「学年の茶話会がなかったので、保護者との連携が取れなかった。」とご意見があった。学校に保護者、子供が馴染めるようにスタッフになっていただいて、繋がりをもつことができた。
- ・4月に保護者がいないと遊びに来れない児童がいたが、子供だけで校庭に来ることができるようになった。
- ・若いスタッフが集団遊びを一緒にしている。
- ・来年度も週5日実施します。よろしくお願いします。
- ・まなび〜からは、ありますか。

CS 伊藤：1年間、ありがとうございました。

- ・2学期のイベント続きのときは、子供たちが疲れていた。
- ・インフル等の欠席でまなび〜への参加が少なかった。最近、児童の人数が戻った。
- ・保護者会の中には、また子供が増えた。
- ・校庭との使い分けをしている児童がいる。「宿題をしてから遊ぶ」というサイクルができて子供がいる。次の学年に向けて子供の意識が変わってきているのではないか。

CS 貞平：読み聞かせの会を3日間おこなった。

- ・反省としては、引率の関係で学級の全員が来ていた。あくまでも自由参観を目的としていた。子供の遊びの時間を奪うためではないので、参加の仕方考えたい。
- ・下準備をしたい方との温度感があった。
- ・実施してよかったという実感がある。
- ・今年度、PTA本部の方針についてご意見をいただいた。
- ・PTA本部役員は重い。◎◎委員であれば参加できると考えている人がいる。まだ、本部役員が決まっていない。会長、副会長が抜けている。

5 その他

CS 梶野：それでは、事務連絡を副校長お願いします。

→板澤：来月の内容について伝達。

CS 梶野：これで第5回前原小学校 学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員会）を終わります。ありがとうございました。